

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課： 有料道路課  
 担当課長名： 森 昌文

事業名	京都市道高速道路1・2号線 (油小路線)	事業区分	都市高速道路	事業主体	阪神高速道路株式会社、京都市
起終点	自：京都市伏見区深草 至：京都市伏見区向島	延長	7.4km		
事業概要	京都市道高速道路1・2号線（油小路線）は、京都市伏見区深草（新十条通）から伏見区向島（第二京阪道路）までの延長7.4kmの自動車専用道路である。本路線は、京都府南部及び第二京阪道路等の広域幹線道路と京都都心方面との連絡を強化するとともに、並行する国道1号など沿線地域の交通混雑の緩和が期待される路線である。				
H11年度事業化	H4年度都市計画決定 (H19年度変更)	H11年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	1,105億円	事業進捗率	89% (H21年度末見込)	供用済延長	5.5km
計画交通量	31,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.0  (残事業) 7.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 122/1,274 億円 事業費 : 103/1,168億円 維持管理費 : 19 / 106億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 890/3,855億円 走行時間短縮便益 : 747/3,288億円 走行経費減少便益 : 114/ 430億円 交通事故減少便益 : 29/ 137億円	基準年	平成21年
感度分析の結果	・残事業のB/Cは 交通量(±10%) 6.6~8.0, 事業費(±10%) 6.7~7.9, 事業期間(+1年) 7.2				
事業の効果等	・第二京阪道路との接続による京阪間の連携強化と国道1号等の並行路線の混雑緩和。 ・都市再生緊急整備地域である京都南部油小路沿道地域、京都駅南地域の開発を支援。				
関係する地方公共団体等の意見	京都市の「平成22年度国家予算要望」(H21.6)、京都府の「平成22年度政府予算に関する要望書」(H21.6)において、油小路線を含む京都高速道路の整備促進について要望されている。				
事業評価監視委員会の意見	・斜久世橋区間の暫定2車線整備については、計画の見直しであり、結果としてコストが削減されたとの整理を行うこと。 ・油小路線と新十条通が接続されることによる効果について追記すること。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・第二京阪道路巨椋池〜枚方東間が平成15年3月に、新十条通が平成20年6月に供用。 ・京滋バイパス久御山JCT〜大山崎JCT間が平成15年8月に供用。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	上烏羽〜第二京阪間については平成20年1月に供用。現在は残事業である鴨川東〜上烏羽間（斜久世橋工区）について工事を実施中である。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後工事を進め、H22年度に完成予定である。				
施設の構造や工法の変更等	斜久世橋区間について、京都高速道路の全線整備まで2車線暫定整備とすることとし、コストが削減された。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。